

令和2年12月17日

ジャパン・ハッカソン実行委員会
委員長 赤城 賀奈子

事務局：京都府商工労働観光部
ものづくり振興課内
電話：075-414-5103

「第2回ジャパン・ハッカソン」の参加者を募集します！

～SDGs 達成を最先端の科学技術（Deep Tech）で加速させるアイデアを競う～

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、国際社会共通の目標である SDGs（持続可能な開発目標）達成の遅れが危惧されています。

ジャパン・ハッカソン実行委員会では、コロナ禍で改めて必要性が認識された「貧困をなくそう」、「すべての人に健康と福祉を」といった目標をはじめ、新しい生活様式を前提とした WITH/POST コロナ社会の中でも SDGs が達成できるよう、世の中を大きく変える可能性を秘めた最先端の科学技術（Deep Tech）により取り組みを加速させるアイデアを競い合う「第2回ジャパン・ハッカソン」を開催することといたしました。

世界各国の学生や起業家、地域課題の解決に取り組む企業などに、前回同様、オンラインで参加いただき、各々の知恵や技術を持ち寄って、世界の SDGs 達成への糸口を見つけ出します。

多くの皆様に御参加いただきたく、報道機関の皆様には告知に御協力いただくとともに、当日の取材対応も併せてお願いします。

■開催概要

- 事業名 : 第2回ジャパン・ハッカソン
- 日程 : 令和3年2月5日(金)16:00～7日(日)20:00（日本時間）
- 会場 : オンライン開催（WEB 会議システム(Discord※)を利用）※参加者へは事前レクチャーあり
- テーマ : 「SDGs × Deep Tech」（SDGs 達成を Deep Tech で加速させるアイデアを競う）
- 参加者 : SDGs の達成を加速させるアイデアがある方、もしくは技術がある方（プログラマー、デザイナー、プロジェクトマネージャーなど）
- 定員 : 応募者の中から以下により選抜された 50 名程度で開催
- ① アイデア提供者：特設サイトから応募し、審査員が開催前に 10 名程度を選抜（選抜された者はチームリーダーとなる）
 - ② 技術提供者：特設サイトから応募の上で、開催初日にチームリーダーのアイデアプレゼンを聞き、参加を希望するチームへオファー（チームリーダーがチームメンバーを開催初日に選抜）
- ※詳しくは以下の特設サイトに記載
- チーム構成 : チームリーダーにチームメンバー（技術提供者）を加えて 3～5 名でチームを編成
- 応募方法 : 特設サイトから応募 (<https://www.japanhackathon.com/>)
- 応募期限 : 令和3年1月15日(金)23:59 まで（日本時間）

参加費 : 無料
使用言語 : 英語
大賞 : 賞金 50 万円
審査員・メンター : SDGs や Deep Tech に関わる世界の第一線で活動されている方を予定
主催 : ジャパン・ハッカソン実行委員会
(京大起業部インターナショナル、京都府、一般社団法人京都知恵産業創造の森、
公益財団法人京都産業 21、関連企業などで構成)

■第 2 回ジャパン・ハッカソンの特徴

京大起業部インターナショナルが持つ独自の国際的ネットワークを活かし、欧米だけではなくアフリカや中東なども含む世界各国から起業家や起業を志す学生などの参加が予定されており、世界共通のゴールである SDGs 達成に向けて、国ごとの現状や文化の違いを直に感じながら、深い意見交換を経て、具体的で実効性のあるアイデアにブラッシュアップすることができます。

※「ハッカソン」とは

ハッカソンとは、ハック(HACK)とマラソン(MARATHON)を組み合わせた造語です。学生、プログラマー、デザイナー、プロジェクトマネージャーなどが集まってチームを作り、実生活で起こる課題などに対してクリエイティブな解決策を見出す、世界的に実施されているイベントであり、オープンイノベーション手法の一つ

※「Deep Tech」とは

Deep Tech とは、大学や研究機関等で長期間かつ多額の費用をかけて研究開発された最先端の科学技術を基にした、世の中での生活スタイルを大きく変えたり、社会の大きな課題を解決する技術

※京大起業部インターナショナルの概要

概要 : 京都大学経営管理大学院のメンバーが主となって 2019 年に設立。世界各国から集う、京都大学と京都大学大学院に在籍中の学生、研究員、卒業生及び修了生からなる多様なバックグラウンドを持つ人々(世界 33 カ国・195 名)が在籍している任意団体。

代表者 : 赤城 賀奈子

設立 : 2019 年 1 月 29 日

URL : <https://kuiec.com/>

【お問い合わせ先】

○ジャパン・ハッカソンの内容について

担当 : 赤城 (ジャパン・ハッカソン実行委員会委員長)

電話番号 : 090-1598-2888

E-mail : kana@japanhackathon.com

○上記以外のことについて

担当 : 須田 (京都府商工労働観光部ものづくり振興課参事)

電話番号 : 075-414-5353